

25年度当初予算

選択と集中で 市民生活重視の予算

25年度の一般会計と5特別会計の予算総額は437億9千万円で、前年度に比べ4億6千万円(1.0%)減少しました。そのうち一般会計は253億7千万円で、14億円(5.2%)減り、2年連続の減少です。

により3億5千万円減少しました。市債償還金である公債費は17億5千万円で、市債の25年度末の現在高見込みは167億4千万円、前年度末に比べ1億2千万円減少しています。

地方公共団体を取り巻く厳しい財政環境が続く中、市の「飛躍」を目指し、持続可能な都市経営を確立し活力ある魅力的なまちづくりを実現するため「新時代あやせプラン21後期基本計画」に掲げる「重点プロジェクト」の関連事業を優先的に推進するとともに、健全な財政運営を基調に市民生活重視の施策に取り組み予算としました。

図財政課 ☎70・5601。

歳入(一般会計) 市税は127億円 前年度比0.5%の微増 歳入の49.9%を占める

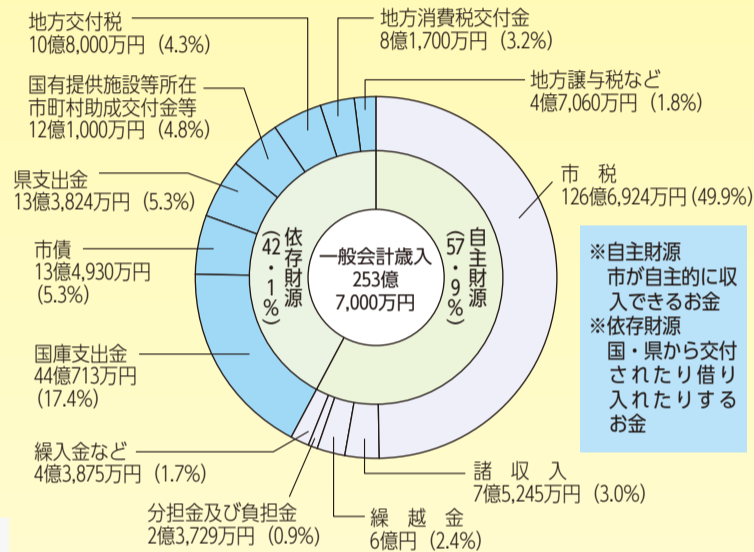
国民健康保険事業は被保険者の高齢化や医療の高度化などによる医療費の増加により、下水道事業は綾西地区、小園地区の管きよ改築工事などによる工事費の増加により、介護保険事業は介護認定者や介護サービス利用者の増加などによる保険給付費の増加により、特別会計全体では5.4%増加しています。

市債借入金である市債は、綾瀬スポーツ公園の整備が進んだことによる工事費の減少(仮称) 神崎歴史公園の用地取得費の減少など

各福祉施策へ支出する、民生費が引き続き一番高く、生活保護費、児童手当、国民健康保険事業特別会計への繰入金、障害者介護給付費が民生費の50%以上を占めています。消防救急体制の強化を図るため、海老名・座間市と広域運営する共同指令センター建設に伴う経費の増加などにより、消防費の伸び率(6.3%)が高くなっています。

各会計の予算規模

Table with columns: 会計名, 25年度, 対前年度比 (増減額, 増減率). Rows include 一般会計, 国民健康保険事業, 下水道事業, etc.



※自主財源 市が自主的に収入できるお金 ※依存財源 国・県から交付されたり借り入れたりするお金

市税1万円の使い道

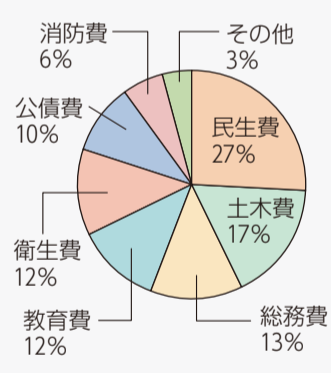
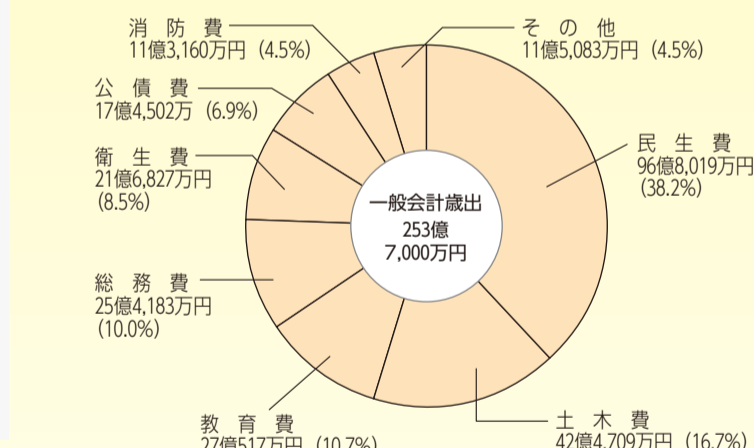
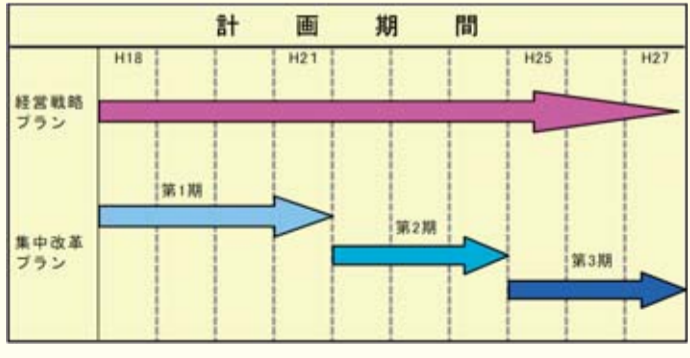


Table detailing the use of 10,000 yen of city tax across various categories like 民生費, 土木費, 総務費, 教育費, 衛生費, 公債費, 消防費, and その他.



行政改革の総仕上げ 第3期集中改革プラン策定

集大成まであと3年 行政改革大綱「あやせ経営戦略プラン」の行動計画となる第3期集中改革プランを策定しました。



25(27)年度の改革は、第1・2期の集中改革プランを踏まえるとともに、経営戦略プランが目指す「行政運営から行政経営へ」を実現するため、新たな取り組みやこれまでの取り組みの拡大・拡充により、着実な達成を目指します。

- 1 職員自らの改革 民間委託や多様な人材活用による職員の一層の精鋭化と業務量に応じた適正配置により、効率的に行政を運営します。質の高い行政サービスの提供するため、職員の人材育成・能力開発
- 2 組織の改革 トップマネジメントの支援強化に向けて、最高経営会議運営方法を見直すとともに、指定管理者導入施設や委託化の拡大など、民間活力の導入を一層推進します。
- 3 行政システムの改革 公共施設有効利用促進計画策定による資産の有効活用や施策評価の実施などにより、選択と集中による効果的、効率的な行政を運営するとともに、ネーミングライツ制度の導入など新たな財源確保に取り組みます。市税のコンビニ収納導入により市民サービスを向上させます。
- 4 市民と行政の新たな関係づくり 市民参加条例の制定により市民参画をさらに推進し、提案型公共サービス制度の導入により「新しい公共」に対応します。
- 第2期同プランの成果 3年間で1億6982万9000円の経費削減、2億3950万6000円の増収で、合計4億933万5000円の効果を上げることができました。

を一層推進し、資質向上に取り組みます。 2 組織の改革 トップマネジメントの支援強化に向けて、最高経営会議運営方法を見直すとともに、指定管理者導入施設や委託化の拡大など、民間活力の導入を一層推進します。